

9. オンラインストレージ
ネットワークに接続されているサーバ上のディスクスペースを、ファイル保管用に貸し出すサービスで、自宅や外出先などから利用者がデータを読み書きできる。
10. [N]
LAN に直接接続して、複数の PC から共有できるファイルサーバ専用機。
11. [クラウドコンピューティング]
複数のコンピュータを LAN やインターネットなどのネットワークで結び、あたかもひとつの高性能コンピュータのように利用できるような方式。
12. [クラスタシステム]
複数のコンピュータを連携させ、全体を 1 台の高性能のコンピュータであるかのように利用するシステム。連携しているコンピュータのどれかに障害が発生した場合には、ほかのコンピュータに処理を肩代わりさせることで、システム全体として処理を停止させないようにする。
13. RAID (Redundant Arrays of Inexpensive Disks)
複数のハードディスクに分散してデータを書き込むことで、高速性や信頼性・耐故障性を高める仕組み。
- ✓ RAID 0 ([ストライピング]): ひとつのデータを分割して、複数のハードディスクに並行して書き込むことによって、書込み動作を高速化する方式。
 - ✓ RAID 1 ([ミラーリング]): 複数のハードディスクに同じ内容を書き込み、信頼性を向上させることでデータの可用性を高める方式。
 - ✓ RAID 5: 分割したデータと誤り訂正のためのパリティ情報を 3 台以上のハードディスクに分散して書き込むことによって、データの可用性を高め、かつ、書込み動作を高速化する方式。
14. オンラインリアルタイムシステム
ネットワークを介して端末からの処理要求を受信し、即時に結果を返すシステム。

15. [デ] システム]
通常使用される主系と、故障に備えて待機している従系の二つから構成されるシステム。予備機をいつでも動作可能な状態で待機させておき、障害発生時に直ちに切り替える[]スタンバイ方式と、予備機を準備しておき、障害発生時に運用担当者が予備機を立ち上げて本番機から予備機へ切り替える[]スタンバイ方式がある。
16. [デ] システム]
二つのシステムで全く同じ処理を行い、結果をクロスチェックすることによって結果の信頼性を保証するシステム。
17. [フ]]
システム障害は必ず発生するものであると考え、機器の多重化などの対策を行うことで、障害の影響を最小限に抑え、故障しても動作できるようにした設計。
18. [フ]]
機器などに故障が発生した際に、被害を最小限にとどめるように、システムを安全な状態に制御する設計。故障や操作ミスが発生しても、安全が保てるようにしておく設計。
19. [フ]]
障害が発生した際に、正常な部分だけを動作させ、全体に支障を来さないようにする設計。
20. [フ]]
人間がシステムの操作を誤らないように、または、誤っても故障や障害が発生しないように設計段階で対策しておく設計。
21. [フ]]
高品質・高信頼性の部品や素子を使用することで、機器などの故障が発生する確率を下げていく方針や考え方。
22. [バ] (VR)
現実感を伴った仮想的な世界をコンピュータで作りに出す技術。

